

## 保護ドライブの再設定手順について

### 1. 保護ドライブの設定の解除

初めに図1の「管理者モードの設定」を表示させます。手順は、製品添付の説明書をご覧ください。メニューの中から「保護ドライブの設定」を選びます。図2のドライブの構成が表示され[Cドライブ]の表示の左側に山型マーク「^」が付いている事を確認します。このマークは保護ドライブに設定されている事を示します。[C:ドライブを選択しスペースキーを1回押します。山型マークを解除されます。これで保護ドライブの設定が解除されます。

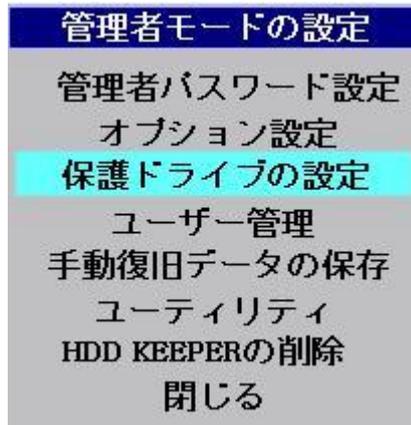


図1

保護ドライブの設定				
HDD	FS	Label	Size	
<b>^C:</b>	<b>HDD1</b>	<b>FAT32</b>	<b>CDRIVE</b>	<b>3710MB</b>
D:	HDD1	FAT16	DDRIVE	196MB

図2

### 2. 保護ドライブの設定

C:ドライブにカーソルを合わせスペースキーを押します。

図3の「Default Userのためのバックアップ領域を入力してください。(50MB~4000MBまたは50M~20000M)」に対して数値を入力します。(空領域を表示しますので最大の数値(4000または20000)を入力することをお勧めします。)次に「Default Userのための保護モードの選択」が表示され、「自動復旧」(または「手動復旧」)で使用するモードを選択します(通常は自動復旧モードを選択してください)。その上に表示している「保護ドライブの設定」のC:ドライブの左側に山型マーク「^」が付いたことを確認します。(図2)(保護ドライブに設定された事を示します。)

Escキーを押します。「管理者モードの設定」メニュー(図1)を表示しますので、「閉じる」に移動してEnterキーを押します。「変更された内容を保存しますか?」:はい(Y)→「ユーザー選択」:Default User→ユーザーパスワードか管理者パスワードを入力 Enterキーの手順で操作すると保護モードでWindowsが起動します。

これで作業手順は終了です。図4の様に“現在の起動モード”タブに円グラフが正常に(赤色と青色の2色)表示されているかご確認ください。表示されるバックアップ領域は、手

順で設定した容量よりも多少、少なく表示されます。



図 3

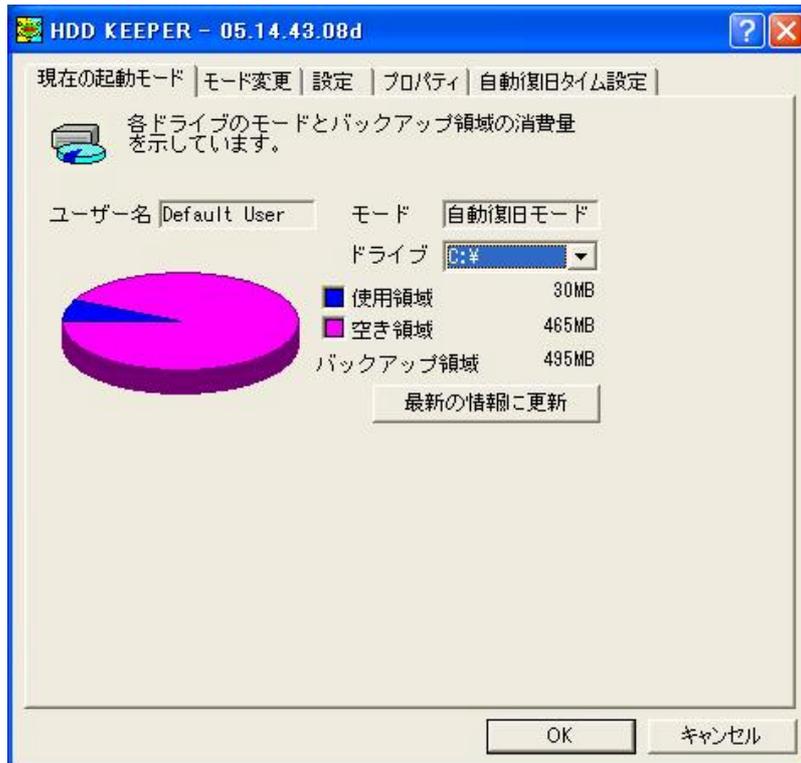


図 4

以上